



独立行政法人大学入試センター

組織の概要について
(令和6年度新規採用職員向け)

大学入試センターの

1. 主な業務

2. 特色と魅力

3. 事務組織

1. 主な業務

- ① 大学入学共通テスト※の実施・運営
- ② 入試に係る調査研究
- ③ 大学に関する情報の提供

※これまでの大学入試センター試験に代わって
令和2年度(令和3年度入学者選抜)から実施

大学に入学を志願する者に対し大学が共同して実施することとする試験に関する業務等を行うことにより、大学の入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校における教育の振興に資することを目的とする。

(独立行政法人大学入試センター法第3条)

2. 特色と魅力

- ① 社会からの関心が高い
- ② わが国最大の大規模試験を実施・運営
- ③ 一体感・緊張感・達成感を味わえる
- ④ 全職員と知り合えるコンパクトな組織

①社会からの関心が高い



大学入学共通テストの出願受付の様子

②わが国最大の大規模試験を実施・運営

《試験会場は日本全国》

〈事前説明会〉

高校関係者、大学入試担当者

〈試験当日・実施後〉

採点答案数 : 約3,000,000枚

成績提供 : 約1,500,000件



③一体感・緊張感・達成感を味わえる

電車の遅延

受験者約**46万人**

急病者対応

全国約**700**試験場

大学入試センター

(試験当日の様子)



報道機関

文部科学省

④全職員と知り合えるコンパクトな組織

役職員数(令和6年7月1日現在) **117名**

(役員3名)

(教員15名)

事務職員 **99名**

⇒平均年齢約40歳



3. 大学入試センターの組織

事務組織

総務部

センター全体の
マネジメント

総務課

財務課

試験企画部

入学者選抜方法に
関する業務

試験企画課

事業部

大学入学共通テスト
の実施に関する業務

事業第一課

事業第二課

事業第三課

研究組織

研究開発部

入学者選抜方法に
関する研究

高大接続
研究部門

試験技術
研究部門

大学入学共通テストの実施に関する業務

大学入試センターは、「共通第1次学力試験」、「大学入試センター試験」、「大学入学共通テスト」と、日本の大学入学者選抜における大規模試験の実施に関する業務を、約50年間にわたり行っています。

事業第二課

事業第一課

試験問題の外部評価と自己点検・評価

問題の質を高めるため、各年の試験終了後、問題ごとの正答率などの詳細な分析を基に、高等学校教員等・教育研究団体による外部評価と問題作成者による自己点検・評価を実施し、その評価結果を次年度以降の問題作成に活用しています。評価結果については、各教科の正答率や得点分布などとともに問題評価・分析委員会報告書として公表しています。

高等学校教員等
教育研究団体



外部評価

問題作成者



自己点検・評価

試験成績の本人通知

試験終了後の4月以降、希望者に対して、試験成績の通知を行います。



事業第一課

受験案内等の作成

志願者及び高等学校等関係者が、共通テストの出願手続きや試験の制度について十分に理解した上で、出願手続きを円滑に行うことができるよう、必要な事項をまとめた受験案内、受験上の配慮案内等を作成しています。

受験案内は、共通テストを利用する各大学及び全国学校案内資料管理事務センターを通して配付しています。



事業第一課

出願の受付

出願の受付や点検及び登録処理を行います。



事業第一課

受験票の発行

12月中旬頃までに、受験票を発行します。受験票には、試験場や登録教科等が印字されています。志願者は、試験当日、この受験票を持参する必要があります。

各種マニュアルの整備、

試験実施業務の周知徹底



共通テストは、同一の期日に同一の試験問題により、全国各地の試験場において実施する大規模試験です。

各試験場において公平かつ円滑に試験が進められるよう統一した基準を示す各種マニュアルを整備するとともに、分かりやすく解説した説明資料や解説ビデオを提供し、試験実施業務の具体的な内容について周知徹底を行っています。

事業第二課

試験問題の印刷・輸送

印刷・輸送における安全で確実な輸送体制の確保及び秘密の保持を徹底しています。

試験問題冊子や解答用紙等は、堅固なセキュリティを確保の上で印刷を行った後、安全で確実な輸送体制のもと、大学入試センターから試験場の大学に輸送しています。

大学に対して、秘密保持など輸送時の留意点を周知徹底するほか、万が一のトラブル発生時でも迅速に対応できるような緊急時の体制を整えています。



全員

1月

事業第三課

共通テスト実施当日の業務

共通テスト実施当日は、全国各地の実施大学と緊密な連携体制を敷いています。

大規模共通試験を適切に実施するため、大学入試センターが作成した各種マニュアルに基づき、全国で数多くの大学教職員が試験の運営(本部作業、試験監督、受付、警備等)を担当します。



共通テスト当日の試験室(東京大学本郷試験場)

採点

受験者の答案等は、すべて大学入試センターに返送されます。

答案は、OMR(光学式マーク読取装置)を用いて、約4日間かけて読み取ります。



OMR(光学式マーク読取装置)

事業第三課

試験成績の各大学への提供

利用大学からの成績請求に基づき、共通テストの成績を提供しています。



試験企画課

共通テストの企画・立案

国立、公立、私立大学関係者や高等学校関係者等で組織する「大学入学共通テスト企画委員会」をはじめとする各種委員会等を置き、共通テストの企画・立案に関して調査審議しています。



事業第一課

受験上の配慮申請の受付・決定等

病気・負傷や障害等のために、受験に際して配慮を希望する志願者に対し、個々の症状や状態等に応じた受験上の配慮を行っています。

受験上の配慮については、障害等の種類や程度にかかわらず、必要な配慮事項を申請することができます。



事業第三課

試験場の指定

各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする試験地区に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが、志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。



事業第二課

試験問題の作成・点検

共通テストは、大学入学志願者が大学で学ぶために必要な能力を有しているかを各大学が把握することができるよう、高等学校の段階における学習の達成の程度を判定することを目的としており、良質な問題を作成することは大学入試センターの重要な使命です。

大学入試センターは、試験実施の約2年前に「問題作成方針」を策定し、公表します。この問題作成方針に基づいて、問題作成や点検が行われています。各分野の専門性を有する国立、公立、私立大学の教員等が問題作成や点検に携わっています。

試験終了後には問題に関する外部評価、自己点検・評価を行い、良質な問題の作成に取り組んでいます。



ご静聴ありがとうございました。

【本資料、要覧、採用スケジュール、採用面接の予約方法等】

大学入試センターHP 採用案内

URL : <https://www.dnc.ac.jp/disclosure/saiyou/index.html>

【本件問い合わせ先】

総務部総務課人事・人材係

TEL 03-5478-1215（直通）

